



【先週 9月27日～10月3日の外食の出来事】

■グルメ杵屋のうどん・そば80店閉店へ…全体の2割相当

グルメ杵屋は、主力のレストラン事業のうち、うどんやそばの業態を中心に今後約80店を閉店する。新型コロナウイルスの感染拡大により打撃を受け、回復のめどが立たないことから、不採算店舗の閉店で業績改善を図る。

■ワタミ、劣後ローン 30 億円調達 居酒屋の 3 割業態転換

ワタミは劣後ローンを含めて110億円超を調達する。主力の居酒屋は新型コロナウイルスの感染拡大による売上げの低迷が続いている。影響が長期化することを見据え、調達した資金で居酒屋店舗の3割を業態転換する。

■鳥貴族、2020年7月期(2019年8月～2020年7月)の業績 減収減益

鳥貴族は、2020年7月期 通期の業績を発表。売上高 275 億 3900 万円(前年同期比 23.2%減)、営業利益 9 億 8300 万円(同 17.4%減)、経常利益 9 億 5500 万円(同 16.5%減)、当期純損失 7 億 6300 万円(-)であった。

■【外食市場 20 年 8 月】7 月超えられず頭打ち 日本フードサービス協会

8 月度は、前月から再び拡大し始めたコロナ感染によって、月前半を中心に客足が振るわず、外食全体の売上は 7 月の 85.0%には及ばず 84.0%と、回復傾向は頭打ち。テイクアウト・デリバリーが好調で、売上は 108.2%。

■ハイデイ日高の 3～8 月期、赤字 17 億円 都の休業要請響く

ハイデイ日高の 2020 年 3～8 月期の単独決算の税引き損益は 17 億円の赤字(前年同期は 14 億円の黒字)だった。8 月の東京都の夜間休業要請で飲み会の 2 次会利用が減り、都心部の売上げ回復が鈍かった。

■ワタミ、残業巡り労基署から是正勧告 渡辺会長ら減俸

ワタミが女性社員に残業代の一部を支払っていなかったとして、高崎労働基準監督署から是正勧告を受け。経営責任を明確にするとして渡辺美樹会長の月額報酬を 6 カ月間 50%の減額、清水邦晃社長を同 30%の減額にする。

■すかいらーく HD 谷会長、上場外食の年収トップの 3 億4600万円

上場企業役員の最新人事データを収録している『役員四季報』の編集部が、配当含む「年収 1 億円超」経営者ランキング 500 を発表した。外食のトップは、すかいらーく HD 谷会長だった。谷氏は 1977 年すかいらーく入社。

■カリカリ焼きそばの中華「梅蘭」で中国人を不法就労させた疑い、経営者らを逮捕

東京都、横浜市などで展開する中華料理店「梅蘭」で中国人従業員を不法に働かせたとして、神奈川県警国際捜査課などは、「源玉商事」社長の男と、姉で役員の子を入管難民法違反(不法就労助長)の疑いで逮捕した。

■寿司・しゃぶ食べ放題「ゆず庵」 80 店舗に コロナ禍でも食べ放題業態は強い

株式会社物語コーポレーションが、寿司・しゃぶしゃぶ食べ放題「ゆず庵」の全国 80 店舗目を静岡市内に 10 月 2 日(金)オープンさせる。タッチパネルで席に座ったまま注文できる食べ放題。